

# リンパ系フィラリア症 その⑤

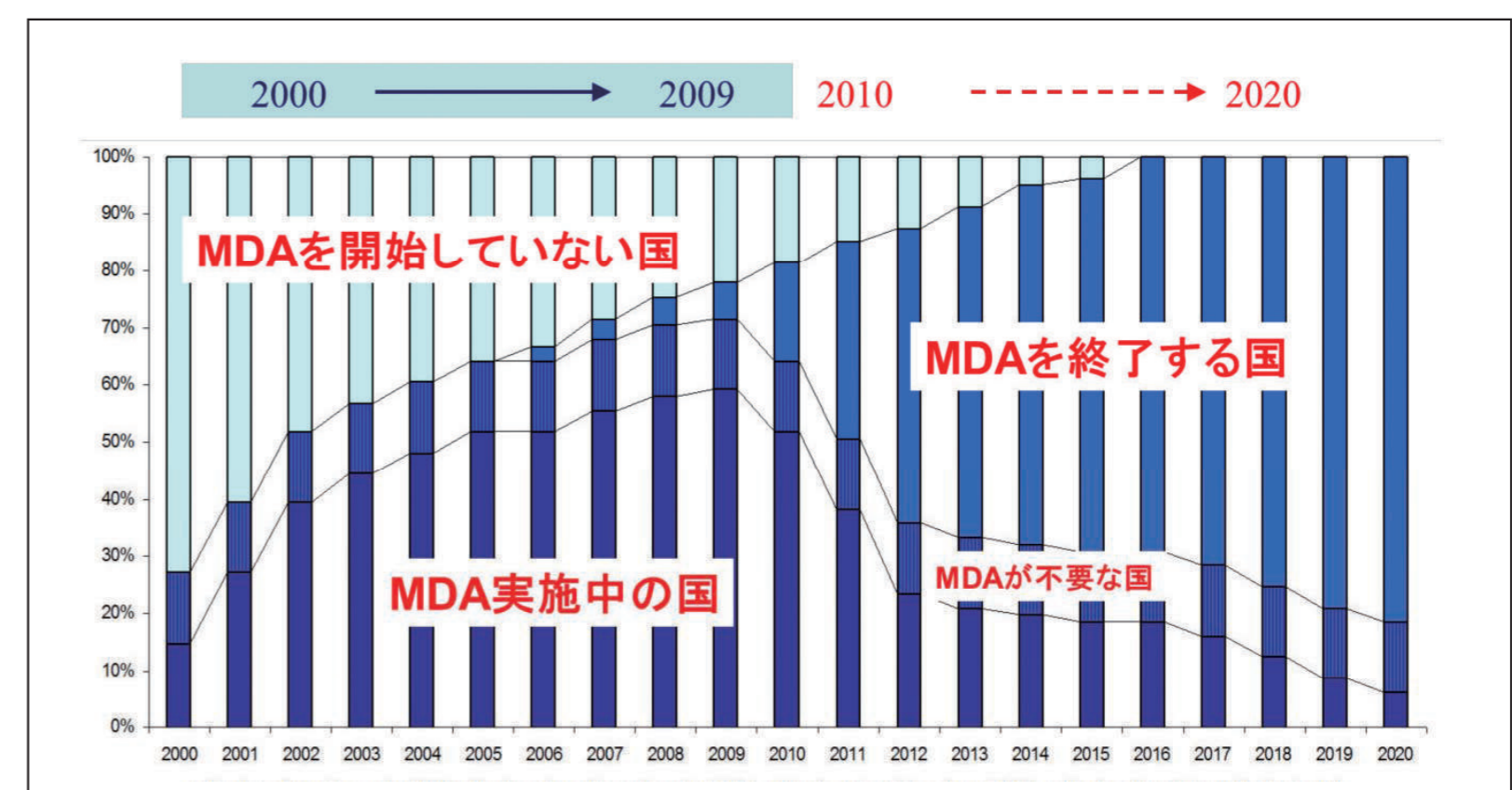
## ▶ 世界フィラリア症制圧プログラム (GPELF) の実績

今現在フィラリア症の伝播阻止を目的としたMDAが73の蔓延国のうち53カ国で実施されており、毎年6.95億人もの人々に薬剤が投与されています。すなわち、地球上で10人に1人が毎年フィラリアの薬を飲んでいる計算になります。



## ▶ これからの課題

ほとんどの国において制圧目前という段階に達してきているGPELFですが、プログラムの終了に向けての新たな課題もあります。



MDAの進捗状況と今後のプログラム進行予想図

## ▶ 人類対フィラリア:みんなで闘う

GPELFは産官民学連携の協働体制を構築しています。すなわち、WHOがプログラムとしてGPELFの進むべき道筋を明確に提示し、それに従って政府ドナーは資金・機材支援を、製薬会社は薬剤を、財団は研究開発費を、大学・研究機関は技術支援を、非政府組織 (NGO) は草の根レベルで資金・実施支援を提供することにより、利害も得意分野も異なるステークホルダーが共通の目標に向かって、それぞれの強みを発揮する形で国家プログラムを支持しています。

パートナー	役割
WHO	制圧計画政策、戦略、ガイドライン作成、各国政府との調整、技術支援
フィラリア症蔓延国政府	国家計画政策、戦略制定、計画実施
NGO、ドナー、財団	国レベルのアドボガシー、資金・機材調達、研究開発費、国家計画実施援助
製薬会社	薬剤無償提供、ロジスティック支援
大学、研究機関	研究実施、技術支援、科学的根拠提供